

平成 27 年 6 月 8 日

平成 26 年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 平成医療学園 横浜医療専門学校
自己評価委員会・学校関係者評価委員会

学校法人 平成医療学園 横浜医療専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された平成 26 年度自己評価報告書に基づき学校関係者評価を実施したので、以下の通り報告いたします。

記

1. 日 時：平成 27 年 5 月 29 日（金） 18：00～19：30
2. 場 所：横浜医療専門学校 5 F 校長室
3. 学校関係者評価委員（敬称略）
 - 平沢 誠剛 （全国柔整鍼灸協同組合・総代、旗の台駅前整骨院・院長）
 - 渡部 典郎 （東京鍼灸マッサージ協同組合・理事、芝東洋院・院長）
 - 神谷 光徳 （宝塚医療大学・客員教授）
 - 加藤 教義 （誠治会【同窓会】・会長、さくら鍼灸整骨院・院長）
4. 事務局
 - 吉田 重光 （横浜医療専門学校・校長）
 - 吉田 洪洗 （横浜医療専門学校・統括長）
 - 赤池 誠司 （横浜医療専門学校・柔道整復師科・学科長）
 - 中村 幹佑 （横浜医療専門学校・鍼灸師科・学科長）
 - 笹谷 栄寿 （横浜医療専門学校・附属接骨鍼灸院・院長）
 - 横浜 隆信 （横浜医療専門学校・広報室・室長代理）
 - 小山 泰義 （横浜医療専門学校・総務課）
5. 学校からの説明
 - ①学校関係者評価委員会の設置について
 - ②学校関係者評価委員会規程について
 - ③学校関係者評価委員会の委員について
 - ④自己評価委員会について
 - ⑤自己評価委員会規程について
 - ⑥自己評価報告書について

6. 学校関係者評価委員による評価結果

I 重点目標について

- 本校の重点目標は、業圏の拡大を捉えた重点目標であると思われるので、これからもそれぞれの領域で必要とされる人材と業界全体におけるリーダーの育成に継続して取り組んでいただきたい。また、多様化する社会のニーズに適応できる人材育成を期待したい。
- 我々の業界は伝統医療といった側面も併せ持つため、基本を忘れず継承の意思をもって教育に取り組んで頂きたい。
- さまざまな分野への取り組みにより我々の業圏が広がる一方で、社会における認知はまだまだという感じがする。学校だけでなく、我々業界としても今後は積極的に社会にアピールしていかなければならないと思う。

II 各評価項目について

項目	評価
基準1 教育理念・目的 ・育人間像	○臨床家たちが、自らの後継者を自らの手で育てようという理念、医療を通じての社会貢献といった目標は共感できる。 ○教職員はもとより、学生にも深く理解させ実践できるように励んで欲しい。 ○時代に即しただけでなく、10年後、20年後を先取りした人材育成が必要である。
基準2 学校運営	○しっかりとした組織運営が窺える。 ○今後ともIT技術等の活用などによる学校運営の一層の迅速化を期待している。
基準3 教育活動	○学生個人の各業に対する目標は多岐に亘っているため、現在行われているゼミナールに加えて、より広い分野のゼミナールも実施してはどうか？ ○学生が臨床の現場を学べるように、インターンシップのような学外実習を検討してはどうか？ ○国家試験合格のためのビルドアップ教育は是非とも1年次から実施して欲しい。 ○教育の基本は教員です。今後とも教員の資質向上に努めて欲しい。
基準4 学修成果	○安定した国家試験合格率を維持している事は高く評価できるが、国家試験不合格者に対する支援はどうなっているのか？ ○個人情報の問題もあるが、卒業生の状況把握にも努力する必要がある。
基準5 学生支援	○在校生に対する担任制の導入による教育支援体制、独自奨学金の給付による経済支援などは評価できる。 ○同窓会と在学生の交流についても積極的な取り組みを期待したい。 ○特に未成年においては保護者との緊密な連絡が必要ですね。よく分かります。 ○奨学金の返金については、より丁寧な説明が大事です。

<p>基準6 教育環境</p>	<p>○施設・設備・備品等の老朽化が目立ってきているので、学生の安全確保ならびに教育活動に直接関連の深いものから優先的に更新していただきたい。</p> <p>○防災管理について、3.11でも電話は使えなかった。早急に誰にでも使いやすく効率的なシステムの導入を図って欲しい。神奈川県や横浜市とも良く協議し、医療関係者としての対応も考えて下さい。</p> <p>○学外実習等の現場での緊張感は非常に大事だと思います。多方面への実習先確保を！！</p>
<p>基準7 学生の募集 と受入れ</p>	<p>○学校説明会への在校生の協力要請や、高校生用にリーフレットを作成するなど、入学前の説明も誠実に対応されており、ミスマッチによる退学を未然に防ごうという姿勢が伺える。今後ともこの方針を堅持して欲しい。</p> <p>○これからさきは、少子化の影響が出ると思うので、より業界の特性と魅力の発信を心掛けて頂きたい。</p> <p>○広報では我々の資格の魅力を伝えることも大事である。</p> <p>○今の子供達は物心がついた時からP Cになじんでいるので、ホームページの充実は大変である。</p> <p>○我々の仕事は「人々の健康に寄り添う！」心が大切なので、点数も大事だが面接も大事です。</p> <p>○学納金の情報はより丁寧な説明と公開が大事です。</p>
<p>基準8 財 務</p>	<p>○同じ法人の宝塚医療大学のW e bにある情報公開ページでも学園全体の財務状況が公開されているが、特に問題はなく、財務状況は健全であると思われる。</p> <p>○財務状況は本校のホームページでも公開すべきではないか？</p> <p>○設備の更新時には、より時代を先取りしたものを、収入を考えながら導入しては？</p> <p>○少子化の進行にはどのように対応するのか？</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>○教育機関として、法令遵守は当然のことであると考えます。</p> <p>○学校は公的要素の強い機関であるので、今後とも様々な法令等についての情報は常に収集し理解した上で健全な学校運営を行っていただきたい。</p> <p>○個人情報の専用P Cの設置は評価出来る。個人情報保護は重要な問題なので、今後とも十分な配慮をお願いしたい。</p> <p>○教育情報は、より分かり易い言葉で、学生や父兄に周知するように努力して下さい。</p>
<p>基準10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>○東京マラソンのボランティア活動等の社会貢献は行っているが、もう少し地域に密着した形での社会貢献（地域貢献）を行う予定はないのか？</p> <p>○災害時の対応は自己満足にならないよう、県・市と連絡を密にしてください。</p> <p>○医療ボランティアの時に卒業生も参加させて、学生や教員と交流させてはどうでしょうか？</p> <p>○ボランティア活動時の連絡体制はどうなっていますか？</p>

Ⅲ 学校関係者評価結果の活用状況

項目	評価結果の活用状況
基準3 教育活動	<p>○ゼミナールの内容の拡大に関して指摘を受けたことを受けて、平成27年度は外部講師を招き、アロマセラピーのゼミナールを実施した。今後も、関連領域を広く捉えた各種ゼミナールを実施していく予定である。</p> <p>○平成27年度中に、学生による治療院・施術所の見学をトライアル的に実施し、平成28年度から授業の一環として治療院・施術所の見学実習を実施することを企画している。</p> <p>○平成27年度から教職員を対象としたFDワークショップを開催することにした。</p>
基準4 学修成果	<p>○平成27年度から、国家試験不合格者に対する特別聴講クラスを設置した。今後とも国試不合格者の資格取得に尽力していく。</p>
基準5 学生支援	<p>○高校新卒生の入学生が増加していることに対応して、平成27年度から保護者用の広報媒体資料を制作し配布するようにした。</p> <p>○同窓会との交渉の結果、同窓会主催の講習会への在校生の参加を推進することになった。</p>
基準6 教育環境	<p>○教育環境の改善として各フロアのカーペットの一部を張り替えた。</p> <p>○現在、トイレの改修、LED照明への交換、外壁修繕などを検討している。</p>
基準7 学生の募集 と受入れ	<p>○入学後のミスマッチによる退学を未然に防ぐために、学校説明会での在校生参加人数を更に増やし、参加者に在校生と積極的にコミュニケーションを取ってもらうようにした。</p>
基準10 社会貢献 ・地域貢献	<p>○学校の近くにある宮前商店街のお祭り（毎年6月の第2金・土・日曜日に行われている「ちょうちん祭り」）と連動した学校祭の開催を検討することにした。</p> <p>○学校周辺の清掃、ゴミ拾い等のボランティア活動を検討することにした。</p>

以上